

新刊

『正しい目玉焼きの作り方 増補版

きちんとした大人になるための家庭科の教科書』

森下えみこ/イラスト

あみ よしえ
毎田祥子、井出杏海、木村由依、

クライ・ムキ 野原慎太郎/監修 河出書房新社

¥590/タ

#家庭科

#ひとり暮らし



洗濯、料理、掃除や片付け、裁縫……苦手な人や、失敗した記憶のある人もいるでしょうか？でも、最初から完璧にできる人はいませんよね。まずは基本知識から知りたいと思ったら、この本を読んでみましょう。

品川区立二葉図書館

〒142-0043 品川区二葉1-4-25 TEL:3782-2036 FAX:3782-9430

●開館時間●

月曜～土曜日 9:00～20:00

日曜日・祝日 9:00～19:00

●休館日●

第2木曜日 年末年始

特別整理休館日

発行:2025年6月

ティーンズブックリスト

Green

今月のテーマ：不思議が聴こえる



6

June

そろそろ梅雨の時期。たまにはひとりで静かにすごすのも、いいのではないのでしょうか。部屋の窓のそばや雨宿りの軒先で、なかなかやまない雨音に耳をかたむけていると、どこかから不思議な声や、秘密の音色が聴こえてきそうな気がしませんか。それはもしかしたら、新しい物語の始まる予兆なのかもしれません。いつもよりもゆっくりと、耳を澄ませて読みたくなる本を集めてみました。



『どろぼうのどろぼん』

齊藤倫/著

ぼたん やすよし

牡丹靖佳/画

福音館書店



Y 913/サ

#物の声

#ファンタジー

ある日の午後、刑事の「ぼく」は雨やどりをしようとして、あじさいの咲き乱れる一軒家の庭に入り込んでしまいます。その家の扉のカギを開けようとしていた男は、どろぼうのどろぼんと名乗りました。悪人にはまったく見えなかったけれども、「ぼく」はしかたなく警察署へと連れていくことにします。

これまで一度も警察につかまったことがないというどろぼんが、取調べて話したのは、世にも奇妙な身の上話でした。どろぼんは、子どもの頃からいろいろな“物”たちの声が聞こえ、盗んでほしがっていることがわかったというのです。

詩人でもある作者による、少しせつなくしみじみとした味わいの物語です。

『狐笛のかなた』

上橋菜穂子/作

白井弓子/画

理論社



Y 913/ウ

#異類婚姻譚

『ゴーストシリーズ①
ゴーストドラム』

スーザン・プライス/作

かねはらみずひと

金原瑞人/訳

サウザンブックス社



YB 933/フ

#シリーズ

『涙の音、聞こえたんですが』

かなり はるか

嘉成晴香/著

ポプラ社



Y 913/カ

#涙

『黒猫』

エドガー・アラン・ポー/著

かずは

斎藤寿葉/訳

まくらくらま/絵

立東舎



YB 933/ホ

#ホラー